

「インフラ維持管理技術の自治体勉強会」を開催しました



大和町にてDXを活用した維持管理・簡易補修を実演

建設センターでは、令和8年5月20日に、大和町の町田橋において大和町や近隣自治体の職員を対象に、インフラ維持管理技術の自治体勉強会を開催しました。

本イベントには自治体職員10名と宮城県黒川高校環境技術科の生徒12名（総勢53名）が参加し、点検技術及び簡易補修の実演・体験を行いました。

(株)IMLの点検支援技術



スマートフォンによる3Dスキャン（左） 360°カメラの説明・撮影（中・右）

(株)ネクスコ・エンジニアリング東北の簡易補修



打音検査（左）「ゴリラテープ エクストリームウォータープルーフ」によるテープング（中）防錆剤「ローバルエコタイプ」の塗布（右）

ニチレキ(株)の床板キャッチャーの実演



「床板キャッチャー」による路面性状調査状況(左)
非破壊調査の説明（電磁波データをAI解析）（中・右）

東北大学
IMC

実証に関する技術的支援・アドバイザー

大和町

被験者：
モデル自治体としてシーズの試行

(株)IML

橋梁点検(新技術)：
スマートフォンと360°カメラを用いた
小規模橋梁の点検支援技術

(株)ネクスコ・
エンジニアリ
ング東北

橋梁点検・簡易補修：
橋梁(打音)点検及び簡易的な補修事例
の実演

ニチレキ(株)

舗装調査：
「床板キャッチャー」を用いた
状態把握試行

継続的な技術支援

本イベントは、インフラ老朽化問題を抱える県内市町村の若手職員の技術力向上や劣化の進行抑制及び補修費の低減に繋がることを期待しています。当センターでは今後も市町村のメンテナンスサイクルの構築を継続的に支援してまいります。

ご協力・ご参加いただきました皆様ありがとうございました。



公益社団法人宮城県建設センター

<http://www.m-ctc.com/>

■問い合わせ先



担当部署：計画管理部 計画調査課
電話：022-217-7631

